

News Release

平成 29 年 7 月 31 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

(株)JTOWER、(株)リサ・パートナーズと共同での ベトナム最大IBS事業会社に対する株式取得について

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、株式会社リサ・パートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：成影善生、以下「リサ」という。）と共同で出資・運営する Japan South East Asia Growth Fund L.P.（以下「JSEAGF」という。）にて、株式会社 JTOWER（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中敦史、以下「JTOWER」という。）と共同で設立した SPC（特別目的会社）等を通じて、本日付で、ベトナム最大の IBS（In-Building Solution：建物内の携帯通信インフラシェアリング）事業会社である SOUTHERN STAR TELECOMMUNICATION EQUIPMENT JOINT STOCK COMPANY（本社：ホーチミン市、ゼネラルディレクター：NGUYEN DAC LAM、以下「SPN」という。）の全株式を取得いたしました。

ベトナムでは、高い経済成長に伴い携帯電話普及率は 100%を超えて伸びており、携帯通信インフラの需要も継続して高まっています。その中でも、複数の携帯電話事業者に建物内の通信設備（共用設備）を貸し出す IBS 市場は、携帯通信トラフィックの急増と携帯電話事業者の資産効率化ニーズを背景に急拡大していますが、今後も大型建物の開発が予定されている同国ではその拡大余地が大きいと見込まれています。

SPN は、平成 25 年に設立され、ベトナムにおける主要携帯電話事業者 3 社との良好な関係や、質の高いオペレーション、広範な不動産事業者とのネットワークを活かすことで、対象延床面積で同国最大（シェア No.1）の IBS 事業者となっています。SPN の導入実績としては、ベトナムにおける主要な高層オフィスビルや空港、ホテル、商業施設などがあり、そのカテゴリは多岐にわたります。

JTOWER は、これまで日本国内において、建物内の携帯通信インフラシェアリング・ソリューション（ベトナムにおける IBS と同義）のリーディングカンパニーとして事業展開しており、銀座最大級の複合施設である GINZA SIX をはじめ、多くの大型ビル・建物で導入・運用している実績があります。この度の SPN の株式取得を通じて、これまで日本国内で培った高いレベルの品質・技術をベトナムの IBS 市場に活かし、同国の通信インフラの発展に寄与していくことが期待されます。

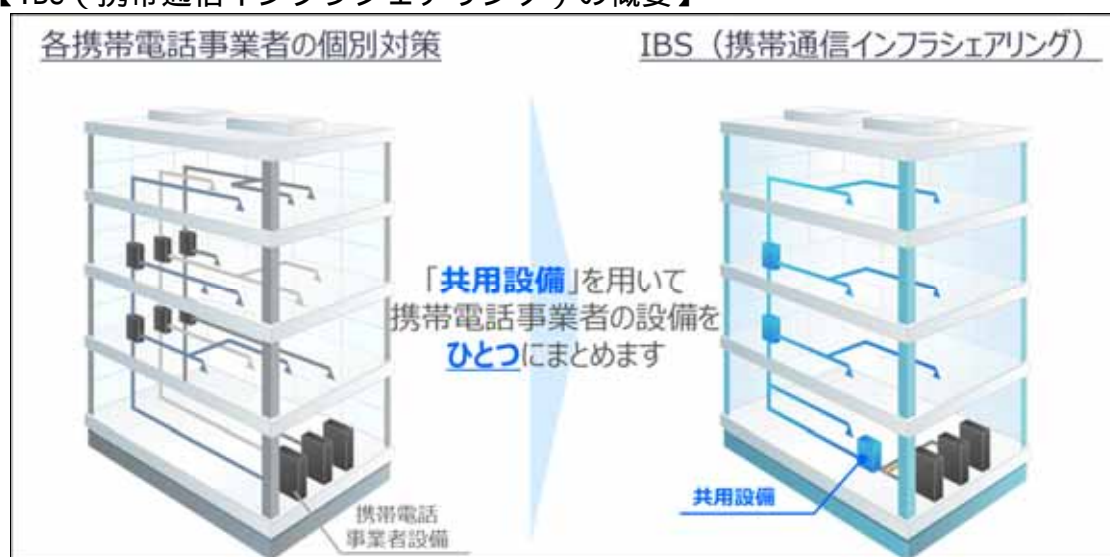
リサは、企業理念「投融資とアドバイザー機能を併せ持つ創造性豊かな投資銀行として社会に貢献します。」および平成 29 年からの 10 年ビジョン「パートナーの皆さまとともに、グローバルな視点で共通価値を創造し、再び飛躍し、持続的に躍動します！」に基づき、成長可能性の高い現地企業と東南アジア各国への進出意欲のある日本企業双方に、様々な付加価値を提供してまいります。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的发展を実現します～」に基づき、「日本発世界」への実現に向けた良質なリスクマネーを提供することで、わが国の成長企業を積極的に支援してまいります。

【本件株式取得の概要】

対象事業会社	SOUTHERN STAR TELECOMMUNICATION EQUIPMENT JOINT STOCK COMPANY (SPN)
対象事業会社住所	412 Nguyen Thi Minh Khai Street, Ward 5, District 3, Ho Chi Minh City, Vietnam
株式取得方法	JTOWER と JSEAGF が共同で設立する SPC (特別目的会社) 等を通じて SPN の全株式を既存株主から買い取ります。
株式取得クロージング日	平成 29 年 7 月 31 日
株式取得後の対象会社の事業運営	本件株式取得後、JTOWER から SPN への役員の派遣を含め、JTOWER の連結子会社としてグループ全体の事業運営に取り組みます。

【IBS (携帯通信インフラシェアリング) の概要】



【お問い合わせ先】

企業投資部 電話番号 03 - 3244 - 1140